

八千代座公演がついに実現！歴史語り『松尾敬宇とその母』

今から10年前、熊本日豪協会は、肥後の民話と歴史物語の語り部・寿咲亜似さんに脚本を依頼し、熊本在住のオーストラリア人ジョン・モーエン氏監修による英語字幕付き田島巳起子訳で、『松尾中佐物語』を製作しました。日本とオーストラリアの友好交流の礎となったこの物語は、熊本日豪協会設立40周年記念「日豪交流音楽祭」で初演されました。

そのきっかけとなったものは、シドニー海軍葬ラジオ放送記録テープでした。厳かに整然と棺が運ばれる足音、敵の勇者に贈られる捧筒の発砲音、死者の栄誉を称えるラッパの音、静寂な中に聞こえてくる海軍葬の儀式を伝えるアナウンサーの声…。自宅にあった『アジアの心を歌う』というカセットテープから流れてきた、当時敵国として戦っていた異国の音を耳にして、茫然と立ち尽くしたまま涙が溢れました。

2004年キャンベラ・奈良条約締結記念キャンドルフェスティバル、2006年日豪友好協力基本条約締結30周年記念事業に招かれて、私はオーストラリア各地で箏を演奏しました。松尾中佐のシドニー海軍葬とお母様のうたは、これがどんなに深い意味を持っていたものかを教えてくださいました。

この度、熊本日豪協会は設立50周年を迎え、山鹿市・山鹿市教育委員会主催、山鹿市地域婦人会連絡協議会のご協力を賜り、歴史語り『松尾敬宇とその母』（「松尾中佐物語」改題）を、松尾中佐の故郷の地、山鹿でご披露する運びとなりました。八千代座での公演は、2013年の初演以来、松尾家の皆様の念願でもありました。

これもひとえに、長年にわたり日豪交流にご尽力を賜りました前山鹿市長の中嶋憲正様、山鹿市長早田順一様、山鹿市議会、クーマ市との友好親善交流を続けられている山鹿ライオンズクラブ、山鹿市民の皆さま、また、ホーク元首相をはじめとする山鹿に心を寄せて下さったオーストラリアの皆様方のご理解とご支援によるものと深く感謝申し上げます。両国の友好交流の発展を願い、次世代に語り継いで行くこの物語を、一人でも多くの皆様にお聴き頂けますことを願っております。

熊本日豪協会設立50周年記念事業実行委員会 実行委員長 藤川いずみ



寿咲亜似／語り

「肥後の歴史物語と民話の会」代表。「語り座」公演では加藤清正をはじめ、熊本の歴史と地域に残る話を掘り起こし、自作脚本は二百話を越える作品を各地で語り継いでいる。ラジオパーソナリティやテレビ出演、出版本多数。内閣官房長官賞、信友社賞受賞。熊本を代表する語り部として活躍している。



Sanshi / デイジュリドゥ

パース在住。オーストラリア北部アボリジニの民族楽器デイジュリドゥの本拠地アーネムランドに赴き、ヨオルゴ族、ガルブクランの族長 Djalu Gurruwiwi 氏の家族に迎えられアボリジニネーム Malarra Yunupingu を授かる。Breth Trio, Eastwinds, Planet Aligned などデイジュ奏者として魅力を世界に伝えている。



Anne Norman / 尺八

メルボルン在住。尺八奏者。日本政府の助成により東京芸大で尺八修得、田島直士、山口五郎、横山勝也に師事。自作曲をはじめ尺八本曲や様々なコラボを展開、オーストラリアを拠点に世界各地で演奏。箏奏者藤川いずみとは2004年より日豪両国で演奏を続けている。2013年設立40周年、2015年「松尾中佐物語」菊池公演に出演した。



藤川いずみ／新箏

邦楽創造集団オーラ J 箏奏者、オーケストラ・アジア、東京室内歌劇場の文化庁巡回公演で全国で演奏。海外からの招聘演奏や日韓伝統オーケストラ、トリニティスペイン公演など箏による国際交流活動を行う。令和3年熊本県芸術文化祭奨励賞。来年公開映画「骨なし灯笼」（監督／木庭撫子、音楽／志娥慶香）に箏で参加している。

熊本日豪協会設立50周年記念事業「日豪交流祭」【令和5年9月8日(金)～18日(祝)】 日本とオーストラリア 2023～結～つながる人・つながる心

- 9/8(金)「日豪太鼓の競演」@城彩苑 10:50-11:20 / @熊本城天守閣前 13:00-14:20
- 9/10(日)「熊本日豪協会設立50周年記念「日豪交流祭」」@くまもと森都心プラザ5Fホール
オープニング 10:30 記念講演 11:10 交流祭 13:00-16:30
- 9/16(土)「オーストラリアの響き」@城彩苑 13:00-14:30 …その他にも多彩なイベントを予定!!

◎詳しくは 熊本日豪協会ホームページ <https://www.kumamoto-australia.com/>

